



ひろば

平成19年3月28日 第44号
発行 (財)大田区体育協会
発行人 専務理事 渡邊和彦
編集 (財)大田区体育協会
企画部
〒143-0024 東京都大田区中央4-31-14
大田区新井宿特別出張所内
電話(03)3778-8787
FAX(03)3778-8789

平成19年度 事業計画・予算



区民スポーツまつり - 少林寺拳法教室 -

平成19年度大田区体育協会の事業計画及び予算が、3月20日に開催された理事会、評議員会でそれぞれ審議のうえ決定しました。そこで、決定した予算及び事業の概要についてご紹介します。

19年度の予算総額は、3億6千633万円で、前年度に比べ622万円の減額になりました。主な事業内容は次のとおりです。詳しくは、体育協会ホームページに掲載します。

事業計画

自主事業

- 1 年少者スポーツ育成事業
 - (1) ドッジボール大会、卓球大会、ミニバスケットボール大会、バドミントン大会、野外活動教室、陸上記録会
 - (2) スポーツ少年団本部への助成
 - (3) スポーツ観戦
- 2 競技力向上対策等事業

- (1) 都民体育大会参加選手育成強化費及び参加費の助成
- (2) 加盟団体に対する補助金の交付
- (3) 都民生涯スポーツ大会等参加費補助
- 3 スポーツ振興事業
 - (1) 加盟団体指導者等に対する講習会・研修会の実施
 - (2) 加盟団体代表者会の開催
 - (3) 少年スポーツ指導者養成講習会の実施
 - (4) 体育実技指導員の派遣
 - (5) トレーニングルームスポーツ教室の実施(大森スポーツセンター)
- 4 会報「ひろば」の発行
- 5 体育功労者等の表彰
- 6 体育協会60周年事業の実施
- 7 ホームページの運用
- 8 「OTAふれあいフェスタ」への参加
- 9 各種スポーツ事業の後援

受託事業

- 1 春季及び秋季区民スポーツ大会の実施
- 2 都民体育大会への選手・役員の派遣
- 3 歩こう大会の実施
- 4 初心者スポーツ教室の開催
水泳、弓道、剣道、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフティテニス、ミニテニス、グラウンド・ゴルフ
- 5 ジュニア育成地域推進事業(都体協)
バドミントン大会、卓球大会、ミニバスケットボール大会、ソフトボール強化研修会、ソフトテニス強化練習会・大会(小・中)、ボート教室、なぎなた強化合同稽古会、ウエイトリフティング教室の開催及びネットワーク構築・活用事業
- 6 スポーツ奨励事業の実施
 - (1) オリエンテーリング
 - (2) 自転車走行会

- 7 ラジオ体操指導者講習会の開催
- 8 区民スポーツまつりの実施
- 9 大森スポーツセンター・大田区体育館・大田スタジアムの管理運営

予 算

予算総額 3億6千633万円

主な収入

- (1) 基本財産運用収入 1,178千円
- (2) 加盟団体分担金 1,380千円
- (3) 賛助会費 2,500千円
- (4) 区補助金 46,393千円
- (5) 受託収入 301,786千円
- (6) 教室参加料 2,787千円
- (7) 積立金取り崩し収入 1,900千円

主な支出

- (1) 事業費 358,063千円
職員人件費、年少者スポーツ育成事業費、競技力向上対策等事業費、スポーツ振興事業費、広報費、加盟団体振興補助金、周年行事経費、区民スポーツ大会費、都民体育大会費、スポーツ教室開催費、区民スポーツまつり経費、ジュニア育成地域推進事業費、体育協会60周年記念事業費、大森スポーツセンター・大田区体育館・大田スタジアム管理運営経費等
- (2) 管理費 5,834千円
事務局事務費

ミズノ・ゼット・S.S.K
 野球・ソフト・バレー・バスケのユニホーム
 チーム特別価格販売中

スポーツのことなら
白銀スポーツ

大田区中央8-29-7
 電話(3754)-8679

新年懇親会が盛大に行われる

1月26日、平成19年の新春を飾る大田区体育協会の新年懇親会が、大田区民ホール「アプリコ」で開催されました。会場となった地下展示室は、各界からの来賓や加盟団体の代表など、昨年を上回る約310人の参会者で埋まり、定刻の6時30分に体育協会の尾崎副会長の司会で会が始まりました。

渡邊和彦専務理事の開会のことばに続き、主催者を代表して西野善雄会長から今年に賭ける競技への心強い意気込みの挨拶がありました。

続いて、来賓を代表して水井達興区議会議長、細島徳明教育長のお二人から祝辞をいただき、鏡割りの後、高木雄司副会長の乾杯の音頭で華やかな宴が始まりました。



盛りだくさんの料理と樽酒に囲まれ、和やかに会が盛り上がったうちに、余興が始まりました。

今年は、民踊連盟の皆さんが正月にふさわしい踊り「祝い福助」など3曲を披露。会場はその艶やかさにうっとり。

続いて華やかな色とりどりの衣装に身を包んだ、フォークダンス協会の皆さんによるイングリッシュ・カントリーダンス「野バラ」と「マイリーオーネン」。映画の世界に引き込まれるような優雅さに大きな拍手が湧きま

した。

予定された2時間が瞬く間に過ぎ、会を惜しみながらの散会となりました。この会を担当された普及部会の皆さん大変お疲れ様でした。

研修会開催 講師はマラソンの瀬古利彦氏

2月9日、大田区民ホール・アプリコ小ホールで、大田区体育協会主催の研修会が開催されました。講師には、日本陸上競技連盟理事の瀬古利彦氏をお招きし「選手を育てる」というテーマで講演していただきました。

講演の前に、10分ほどビデオの上映があり、瀬古氏が選手時代に活躍した姿が紹介されました。福岡国際マラソン大会の映像では、イカンガー選手との接戦にかたずをのみ、ゴール直前での逆転優勝に、会場から大きな拍手が沸きました。このあと、講師のプロフィールの紹介があり、講演となりました。



講演の内容を要約して紹介します。

マラソンの距離42.195kmは、東京駅から戸塚の山の手前ぐらいまでの距離で、ほぼ箱根駅伝の1区と2区分を走ることになり、語呂合わせで「死にいくゴール」というくらいかなりきつい距離である。

マラソンの選手は、この距離を長いと感じるようではだめで、「チョットそこまで」という感じにならなければならない。大体の人

は午前10～20km、午後30～40kmと練習をしてこの距離感を克服する。私は、1日に90km走ったこともある。

外国人、特にケニアやエチオピアなどの高地出身の強い選手に勝つためには、日本の選手は、厳しい練習を積み重ねないと勝てない。体力・走力の強化がまず必要である。

早稲田大学に入学した時、マラソン選手への転向を勧めてくれた恩師中村清監督は、「天才は有限、努力は無限。お前は努力の天才になれ。」「継続は力なり。」「練習で泣いて試合で笑いなさい。」とよく言っていた。また、「二人は一人に勝る・・・夫婦は助け合う。選手も同じで、仲間がいるから助け合って走れる。」「競技で一位になるのは唯一人。強くなるためには節制しなさい」など等。

マラソンを走るには、練習だけでは勝てない。自分のためだけを考えては走れない。自分を支えてくれた父母をはじめ、応援してくれた大勢の人、みんなが喜んでくれると思って走るとがんばって走れる。マラソンは一人では走れない。また人間も一人では生きられない。助け合いながらがんばりましょう。

「いざ」という時のために 救急救命講習会

平成19年2月11日(日)、大森スポーツセンターで、体育協会主催による「救急救命講習会」を開催しました。この講習会は、加盟団体の会員を対象に毎年2月に、大森消防署・東京救急協会・地域消防団の指導により行っているもので、体育協会の普及部が担当しています。

今回の受講生は32名で、最初の1時間30分で消防署の活動内容・応急手当の必要性・心肺蘇生法(心臓マッサージ、人工呼吸による蘇生)を、休憩後の2時間で、現在、区の施設に設置されているAED(電気ショック蘇

生法)による蘇生指導を受けました。



この講習会は、スポーツにつきものの怪我や家族や近隣で急病人が発生した時など、迅速で適切な応急手当が出来るための知識・技術を身につけるためのものです。

まだ講習を受けていない会員の方、是非次回の講習会に参加していただき「人命救助の輪」を広げていきましょう！参加をお待ちしています。

平成18年度各種表彰

永年にわたり広く地域の体育・スポーツ振興に寄与している功績に対して、次の方が表彰を受けました。

おめでとうございます。

東京都教育委員会表彰

(平成18年10月10日)

体育功労者

丹羽康雄

住まいのベストアドバイザー
スピーディーなオフセット印刷

東京都知事免許(11)第3623号

有限会社 クメザク商事

池上線 蓮沼駅前

不動産部 ☎3731-5451(代) 印刷部 ☎3739-0411(代)
FAX ☎3731-3548 FAX ☎3739-0413

六十周年は百周年を目指す一里塚

大田区軟式野球連盟 事務長 小松春雄

大田区軟式野球連盟は、昭和22年4月、大森区、蒲田区の統合により大田区が誕生した年の11月、蒲田・大森・東調布の3野球連盟が統合し、設立されました。

爾来60年、ここに60周年祝賀会を開催する事が出来たことは、多くの方々から彌栄を辱なくし、誠に感慨ひとしおでございます。



少年の非行が若年化傾向と共に凶暴化しつつあった昭和46年に、次代を担う少年達の健全育成と協調精神の形成を主眼に「大田区少年軟式野球大会」を創設しました。各地域に密着した少年野球チームの存在こそが少年犯罪抑止の大きな防波堤的存在である事を確信します。

バブル経済が破綻し、中東湾岸戦争が勃発した平成3年、40数年間副会長・会長をご歴任されました醍醐安之助先生のご逝去と云う大きな試練に遭遇しましたが、明けて平成4年に区議顧問の先生方のご指針ご助力を頂き新会長に西野善雄現区長をお迎えすることになりました。

平成7年、大田区に待望の公式野球場、大田スタジアムが誕生しましたが、これを機に連盟が支柱となり有志の諸団体と結合して

「大田区野球まつり」を船出させました。

8月9日を89(やきゅう)の日と定め、軟式・硬式・ソフトボールを問わず老若男女が一堂に集い、ベースボールを楽しみ乍ら人としての協調精神を養う事を目的とした「野球まつり」も既に13回を迎えます。

高齢化社会の到来に伴い、生涯スポーツが盛んに言われていますが、軟式野球こそ高齢者に相応しいスポーツです。連盟は、平成12年に壮年チームを創設し、その足がかりを作りました。

グラウンド面数との関連も有りますが、近い将来還暦チームの試合も想定内です。

私達は偉大な先輩から受け継いだこの事業を更に発展させ、後進にバトンタッチする義務があります。従って、60周年は100周年を目指す連盟の通過点、故に一里塚である事を申し述べ筆を置きます。

大田区体育協会加盟 20周年を迎えて

大田区居合斬道連盟 尾関洋典

大田区居合斬道連盟は一昨年、体育協会加盟20周年を迎えることが出来ました。

これを記念して、昨年12月3日、体育協会役員の方々を始め多数のご来賓の出席をいただき、蒲田アペアにて記念式典を開催いたしました。

大田区居合斬道連盟は、当時体育協会の会長であった故古岡勝先生が昭和61年に立ち上げたものです。

稽古は毎週木曜日の他、朝稽古、寒稽古、春・秋の大会と、その活動も年々大きくなり、今では志を同じくする区民をはじめ他県やアメリカ、韓国からも居合斬道の心と技を学ばんと連盟を尋ねて来て、日夜稽古に励んでいます。



ある来賓の方は、大会のごあいさつの中で「今、美しい日本人の心が失われつつある。礼讓慈愛の精神をこの居合斬道という武道を通じて教えられることが多い」と私達の居合斬道連盟に多くの期待を持っておられることを話されています。

私達も、質実剛健の身体と、礼讓慈愛の精神を養うべく修行に励んでいます。

ただ、この記念式典に、会を創設した、古岡勝先生が居られなかったのは非常に残念でさびしく思いました。

しかし、二代目、古岡二刀斎先生も誕生いたしましたので、また、心新たに活動を展開して行けることと思います。

最近はこの居合斬道も、ややスポーツ化した感がありますが、日本古来の伝統と格式を重んじ、その精神を守り、新たな仲間と、区民に愛される居合斬道をこれからも広めていきたいと思っています。皆様のご協力をお願い申し上げます。

創立二十周年記念なぎなた大会

大田区なぎなた連盟 理事長 堀江寿々枝
平成18年11月5日、大田区民プラザにおいて表記大会を開催しました。

大田区教育委員会を始め財団法人大田区体育協会並びに東京都なぎなた連盟の後援を戴き、多くのご来賓のご臨席を仰ぎ、午前10時から大会が始まりました。午後からは、各区市の招待選手を交えた試合も行われ、記念大会を盛大のうちに終了する事が出来ました。



午後5時30分からは、会場を大森東急インに移し、祝賀会を執り行いました。

創立20周年記念行事にあたり、ご支援ご協力賜りました多くの皆様方に厚く御礼申し上げます。次第です。

顧みますと、昭和60年9月に、財団法人大田区体育協会専務理事の渡邊和彦様のお口添えにより大田区なぎなた連盟が発足致しました。初代会長に、今は亡き古岡勝様が快く

寝具・毛布・座布団・名入タオル
貸ふとんも承ります

合名会社 **寿屋**

J R大森駅東口

〒143-0016 東京都大田区大森北1-30-6
TEL 03(3761)0213 代
FAX 03(3761)0510

休日診療等もお気軽に

休日専用電話
蒲田・大森・田園調布地区共
☎ 090-3542-3896

大田区柔道接骨師会

お引き受け下さり、なぎなた連盟にとって大変恵まれたスタートを切ることができました。

初心者教室を重ね、部員の育成強化により平成2年第43回都民体育大会には、創部5年目にして3位入賞という快挙を成し遂げました。以来、活躍の場も除々に増え、平成9年には東京都体育協会より体育優良団体として表彰の榮譽にも授かりました。

これからも大井幸枝会長のもと部員一丸となり、更なる飛躍を目指し、生涯スポーツ並びに青少年の育成に力を注いで参ります。

★ 全国スポレク祭に ソフトテニスチーム出場 ★

平成18年10月21日から4日間、鳥取県において第19回全国スポーツ・レクリエーション祭が開催されました。この祭りは、「スポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を設け、生涯スポーツを多くの国民の参加を得て実施し、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る」というものです。



都道府県代表が参加する競技は、グラウンド・ゴルフやゲートボールなど18種目に渡りますが、大田区は、東京都代表として、年齢別ソフトテニス競技に参加することが出来ました。

この大会に東京都代表として参加できるのは、一種目一代表に限られるため、今回の出

場は大変ラッキーだったと言えます。

大田区選手団は、大田区ソフトテニス連盟のトップクラスの選手で、過去に全日本でも3本の指に入るといわれた選手も含まれています。

年齢別ソフトテニス競技は、米子市の東山庭球場を舞台に、10月22日から3日間の日程で熱戦が繰り広げられました。

試合は、予選リーグ・順位別決勝リーグ・決勝トーナメントの形式でしたが、相手はいずれも全国から選抜された一流選手です。東京都チームは、予選リーグを2位で通過し、2位グループの決勝トーナメントで準決勝まで進みましたが、最終的には、3位入賞という成績で大会を終えました。選手の皆さん、大変お疲れ様でした。

(大田区ソフトテニス連盟 時任宥幸)

大田区ロードレース大会 東洋大箱根駅伝出場メンバー 参加で好記録続出

12月17日(日)、大井陸上競技場をスタートとする大井埠頭中央海浜公園外周コースで、第55回大田区ロードレース大会〔10マイル・10km(一般男女)・壮年(男女)・高校男子・3km(中学男女)8種目〕を開催した。



東洋大学の箱根駅伝出場メンバーをはじめ、全国各地から1000人近くの競技者が参加した。スタート前から好記録を期待し、

会場は大変な盛り上がりであった。

10マイルレースは、スタートから東洋大と慶応大の選手が一団となり、他の選手を引き離し競技場から外周コースへ出て行った。

東洋大の選手のスピードは目を見張るものがあり、他の選手を圧倒した。3kmを通過した頃からは、東洋大の選手同士による先頭争いとなり、箱根駅伝に出場する選手の底力を見せつけた。

結果は、20数年破れなかった大会記録50分13秒(渡辺有二選手)を東洋大の9人の選手が更新した。優勝は東洋大の大西智也選手で、タイムは48分36秒であった。

東洋大は正月の箱根駅伝で、この大会に出場した選手の活躍で5位に入賞した。

また10km一般男子の部には、現東洋大の監督で、シドニーオリンピックのマラソンに出場した川島伸次監督が、現役高校生(日体荏原高の筱寄昌道選手)に競り勝ち、石黒崇選手のもつ大会記録31分57秒を更新する31分43秒の大会新記録で優勝した。

(陸上競技協会 吉川 進)

子どもたちの国際交流

「ボンソワール」、「こんばんは。」

最初のフランス語の挨拶は日本の子どもたち。あとの日本語はフランス人だった。意外な幕開けの8月2日午後6時半。

大田区柔道会の吉井利夫会長の道場(糀谷駅前)を訪れたのは、フランスのケティーニ柔道クラブ。パリから少し離れたディジョン市からやってきた16,7歳中心の男女20名の面々。

柔道の本山、講道館から思いがけなく依頼があり、受け入れたもの。約30名の吉井道場の少年部の子どもたちは、「柔道が国際語」とばかり、フランスのお兄さんやお姉さんに



1時間ほど稽古をつけてもらった。ふだんと違い、手足が長く、香水も匂うフランス人だったが、中には「チャンピオンになれるかも」とおだててもらった子どももいました。稽古の最後は「メルシー」、「ありがとう」と握手。

「ぼくは一人目に女のひととけいこをしましたが、強かったです。フランス人と全員、握手できて、うれしかったです。また来てほしいです」(小四・須藤泰秀)「ぜんいん、くろおびですごかったです。ふらんすじんといっばいしゃべれてよかった」(小一・こまつげんと)「ぼくは吉井道場で4年間も習っていて、初めて外国人と練習できました。二回目は自分なりの柔道ができ、投げさせてもらいました」(中一・綱島洸太郎)

団長のパトリック氏は、「感動した。吉井道場の子どもたちの眼の輝き・表情が生き生きとしていて」とコメント。

ほんの短いひとときでしたが、かけがえない体験ができた夏の国際交流の一コマでした。(大田区柔道会)

プログラム・記念誌・名簿等にご利用下さい

印刷 ワープロ コピー 翻訳
トレース 写真・ビデオ作成

(株)光和商事

〒146-0092 東京都大田区下丸子4-7-17
TEL(03)3757-3665
FAX(03)3757-3667

第23回区民スポーツまつり結果

10月9日の体育の日(一部10月1・8・14・15・21日開催)に、大田区区民スポーツまつりが開催されました。今年のまつりは数年ぶりの好天に恵まれ、多摩川緑地などの屋外会場や身近な区民施設・民間施設を活用したまつりには、1万3千4百人余が参加し、楽しい1日を過ごしました。

大田区体育館では開会式の後、昨年に引き続き少年少女ドッジボール大会(参加19チーム、249名)が行われ終日熱戦が展開されました。

成績は次のとおりです。

- ・優勝 I R Sファイナル
- ・準優勝 道塚ドリームウイングス
- ・三位 池二ファイターズ
- ・四位 相生ガキーズ



第77回歩こう大会と レクリエ - ションの集い

11月3日(金) 第77回歩こう大会とレクリエ - ションの集いが多摩川緑地会場とガス橋緑地会場の2箇所で開催されました。

この大会は、歩くことが日常生活に直結したもっとも手頃な運動である歩くことを奨励し、スポ - ツへの関心を高めてもらうという趣旨で春と秋に実施しています。

参加者は、準備体操後、体育指導委員から正しい歩き方の講習を受け、4キロメートルと7キロメートルのコースに分かれて元気にスタートしました。



今回の大会は、雨の心配もなく、爽やかな秋晴れに恵まれ、絶好の日和となりました。

参加者は、風もなく穏やかな多摩川のほとりを、自分のペースに合わせて思い思いに歩を進めていました。

前回は、他の行事と重なって参加できなかった老人会の方々やお母さん・お父さんに連れられた小さな子どもたちも元気に参加していました。

80歳を超える方々も多く、長寿の秘訣が日頃から歩くことであるということをしみじみと感じさせられる歩こう大会でした。

歩こう大会終了後は、民踊やフォークダンスなどが行われ、楽しい1日を過ごしました。

少年少女バドミントン大会

11月12日、大田区体育館で第4回少年少女バドミントン大会が開催されました。今回の大会は、昨年と異なり、審判員は大会に参加した子供たちが交代で担うという方式にしました。

参加者は、70名で昨年に比べやや少なめでしたが、11のグループに分かれて午前から午後にかけてリーグ戦を行いました。学年別の参加者が少なかったため、決勝トーナメント戦が行えず、各グループの1位のペアが優勝となりました。

今回の大会は、地域クラブの指導者4名と育成部員14名の運営により、無事に終えることができました。

少年少女卓球大会

11月23日、区立新宿小学校体育館で第22回少年少女卓球大会が開催されました。

この大会には3年生から6年生までの男女55名の参加者がありました。

卓球大会も他の大会と同様に参加者が余り多くありませんでしたが、学年別にグループをつくり、午前中はリーグ戦、午後は各グループ1,2位者による決勝トーナメント戦を行い、各学年の1位から3位までが表彰されました。

この大会は、大田区卓球連盟の役員3名と育成部員14名の皆様のご協力により運営されました。

優勝者は次のとおりです。

- 3年生の部 串崎 圭人(徳持小)
- 4年生の部 岡田 大樹(清明学園初等部)
- 5年生の部 工藤 豪(清明学園初等部)
- 6年生の部 岡部 拓哉(入新井第五小)

第60回都民体育大会の幕開け

春季大会に先がけて、夏季・冬季大会が行われました。

大会結果は、次のとおりです。

春季大会は、それぞれの種目でベストを尽くし、昨年(総合で男子5位・女子4位)の戦績を上回る成果を期待します。

夏季大会

水泳競技会 (平成18年8月6日実施)

<正式競技> 東京辰巳国際水泳場
男子入賞外 女子7位

ゴルフ競技会 (平成18年8月22日実施)

<公開競技> GMG八王子ゴルフ場
男子入賞外 女子3位

冬季大会

スキー競技会 (平成19年3月4日実施)

<正式競技> 長野県菅平高原
シーハイルコース
男子入賞外 女子8位

駅伝競走 (平成19年3月11日実施)

<正式競技> 駒沢オリンピック公園
陸上競技場・ジョギング
コース
7位

体育協会加盟団体の 会長会を開催

昨年の11月21日(火)午後6時30分から大田区体育協会に加盟する46団体の会長による会議が開催されました。

広く意見や提案を頂き、今後の体育協会の運営に役立たせるためのもので、事務局から体育協会の組織、予算など事業の概要について説明があり、その後、団体の活動状況や問題点などの意見交換や60周年記念事業への提案などが行われました。

大田区体育館の改築が決まる

大田区体育館は、昭和40年6月に完成し、区民の多様なスポーツ・レクリエーションの活動の場として利用されてきました。

しかし、建設後40年以上が経過し、老朽化が著しいため、平成20年3月末で使用を終了し、改築することになりました。

新しい体育館は、平成23年度にオープン予定です。公式競技大会の開催に対応した大アリーナと小アリーナを中心に観客席、会議室(研修室)、談話コーナー等が整備された施設で、スポーツ活動や区民行事にも利用が可能な多目的の施設となります。

体協創立60周年記念日 まであと1年

大田区体育協会は、前身である大田区体育会が昭和23年3月に発足しました。

以来、関係者の皆様のご努力により本日まで活動を続けてきましたが、平成20年には、記念すべき60周年を迎えることとなります。

そこで当協会では、これを記念して、記念事業を行うための実行委員会を立ち上げました。メンバーは、企画部会や競技力向上委員会を始めとする各部会の部員です。

これから、具体的な事業内容の検討に入りますが、現時点で決まっている内容は、記念式典を平成20年1月27日(日)に産業プラザ・ピオで開催するということです。

皆様方のご協力で、この60周年記念事業を是非、成功させたいと思っています。

訃報

平成19年1月9日、当体育協会競技力向上委員会委員で大田区弓道連盟理事の小林昌弘氏(67歳)が逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

第60回区民スポーツ大会日程(春季)

	種 目	期 日	会 場	申込締切日
1	テニス(シグル)	3月10日 ~ 5月6日	ガス橋・本羽田・平和の森庭球場	-
2	サッカー	4月1日 ~ 7月29日	多摩川緑地サッカー場他	-
3	ソフトテニス (部) (部)	4月1日	多摩川六郷橋緑地庭球場	-
		6月3日	多摩川田園調布緑地広場庭球場	5月18日
4	ソフトボール	4月1日 ~ 6月3日	ガス橋緑地野球場 6~8号面	-
5	軟式野球	4月1日 ~ 7月15日	大田スタジアム・多摩川緑地野球場	-
6	ハイキング	4月1日	三浦半島「大楠山」	-
7	バドミントン	4月1日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	-
8	ゴルフ	4月12日	カナリヤガーデンカントリークラブ	-
9	卓球	4月14日 小・中・高校生	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	-
		4月15日 一般	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	-
10	合気道演武	4月15日	南馬込文化センター 体育室	4月7日
11	弓道	4月15日	大田区体育館弓道場	当日会場受付(9:30~10:30)
12	民踊	4月22日	大田区民センター 音楽ホール	-
13	陸上競技	4月22日	大井埠頭中央海浜公園陸上競技場	4月2日
14	バレーボール 一般(9人制)	4月29日 ~ 5月8日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	4月11日
	バレーボール中学生(6人制)	6月2日・6月16日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	5月22日
15	インディアカ	4月30日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	-
16	ミニテニス	5月3日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	4月21日
17	ライフル射撃	5月5日(大口径)	埼玉県長瀬総合射撃場	4月25日
		5月3日(小口径)	千葉県営射撃場	当日会場受付(8:00~9:00)
18	ゲートボール	5月6日	大田スタジアム	4月19日
19	レク・フォークダンス	5月6日	池上会館	当日会場受付(9:30~10:00)
20	エアロビクス	5月13日	池上会館	5月12日
21	相撲	5月13日	大田区体育館 相撲場	当日会場受付(11:00~13:00)
22	馬術	5月13日	綾瀬市上土棚2407 綾瀬乗馬クラブ	5月10日
23	バスケットボール	5月14日 ~ 7月29日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	4月12日
24	アマチュアレスリング	5月20日	洗足区民センター 体育室	当日会場受付(9:00~9:30)
25	ハンドボール	5月20日・5月26日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	5月11日
26	柔道	5月27日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	5月11日
27	釣魚(白きす)	5月27日	三浦半島 金田湾	5月21日
28	アーチェリー	6月3日	平和の森洋弓場	当日会場受付(9:00~9:30)
29	居合斬道	6月3日	大田区民ﾌﾞﾗｯｸﾞ 体育室	5月14日
30	ウエイトリフティング	6月10日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ 健康体育室	当日会場受付(9:00~11:00)
31	空手道	6月17日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	5月11日
32	剣道	6月24日	大田区体育館	5月11日
33	クレール射撃	7月16日	千葉県成田射撃場	当日会場受付(7:50~8:30)
34	ダンススポーツ	8月26日	大森ｽﾀｰﾂﾝﾀｰ	7月21日
35	水泳	9月2日	平和島公園水泳場	7月21日
36	ボウリング	未定	未定	未定
	スポーツ奨励事業			
37	自転車走行会	6月3日	神奈川県立東高根森林公園	当日(多摩川六郷下広場)集合場所 午前9時